

夢に向かって挑戦する子ども

令和7年度
2月12日 No.13

幼保小連携推進協議会～林間のぞみ幼稚園～

- ①保育参観
- ②グループ協議
- ③連携校 くぬぎ台小学校より提案
- ④グループ協議
- ⑤講話（白梅学園大学 宮田まり子准教授）



先日、林間のぞみ幼稚園で幼保小連携推進協議会が行われました。幼保小の先生方が、どのようにお互いのよさや学びをつないでいくかを考え、連携推進を図るために毎年行っているもので、今年度で第4回目となりました。連携園校をはじめ、市内外から多くの先生方が参加し、協議しました。

保育参観後に行われた午前中の協議では、保育の意図や園の思い、各地域での幼保小連携の取組や課題が語られ、午後のくぬぎ台小学校長の桂徳先生の発表では、交流の際に園の先生が見取った「幼児期の終わりまでに育つてほしい10の姿」が小学生に活かされている場面についてアンケートを取ったことや、園校の1年間の活動から、交流できそうな機会を見出していく試み等のお話がありました。園からは、「小学校への不安をわくわくに変えていきたい」を園校共通の思いとして連携を考えていきたいとのお話がありました。

小学校への不安をわくわくに変えていきたい！

安心感

今あるものをブラッシュアップ！
今はいいけどビルトアップ！

1年生との交流を
もちたい！



園の生活・学びを
見に来てほしい！



園と小学校でクロスする新しい
カリキュラム・マネジメントで、効
率的・効果的・より深い学びへ！

職員同士が気軽に話せる
関係でありたい！

先生は信頼できる存在
であってほしい！

こんなこともできるのでは？

学校図書室を利用する！

新1学年担任にも、子どもたちに
ついて伝える機会がほしい！



交流会の際に、「10の
姿」を視点に園の先生に
アンケート

園での遊びや経験が、小学校のどんな活動の展開につながっているの？
どんなところで発揮されているの？知って、園の環境を整えていきたい！

期待

自信

散歩の休憩場所として小学校に立ち寄る！

幼保小連携に求められるのは、園
と小学校の間にある“差”を知り、
なだらかにすること。

子ども同士の関わり

教職員との関係

自己肯定感

一人ひとりの成長を願っていることに変わりはない。